

宮城県の農林水産業の概要

特徴・取組

宮城県は東北地方の東南部に位置し、奥羽山脈（西部）、北上高地（北部）、阿武隈（あぶくま）高地（南部）から流れ出る河川によってつくられた肥沃な仙台平野は、東北一の広がりを持つ豊かな穀倉地帯となっている。宮城県の森林は約42万haで県土の57%を占める。

また、本県沖合は親潮と黒潮がぶつかる生産性の高い海域であり、三陸沖漁場は世界3大漁場としても有名である。

気候は、東北地方としては比較的温暖で降雪が少ない。

県内の産業構造は、令和2年国勢調査就業状態等基本集計結果では、第一次産業が4.0%、第二次産業が22.3%、第三次産業が73.7%となっている。

県内総生産は、令和3年度宮城県民経済計算では、第一次産業が1.2%、第二次産業が24.4%、第三次産業が74.6%となっている。

農業では、全国トップクラスの大区画水田整備率や、園芸栽培に適した気候や立地条件で、「ひとめぼれ」「ササニシキ」「だて正夢」「金のいぶき」などのみやぎ米の生産とともに、いちごやパプリカなどの野菜を中心に園芸の生産と販売拡大に取り組んでいる。

林業では、すぎやひのきなどが大きく育ち、利用の適期を迎えており、住宅や家具などさまざまな場面に利用されている。

水産業では、まぐろやかつおなど、多様な魚種が水揚げされるほか、ぎんざけやかきなどの養殖も盛んな全国屈指の水産県となっている。

農業では、宮城県が誇るブランド農産物の「ひとめぼれ・ササニシキ・だて正夢・金のいぶき」や「仙台いちご」「仙台牛」をはじめとする「食材王国みやぎ」の自慢の品々を全国に向けて発信していくとともに、競争力の高い園芸産地の確立や、先進技術の導入による生産性の高い農業等を推進し、多様な人材が農業現場で活躍する、魅力ある農業の実現を目指している。

林業では、FSC（森林管理協議会）認証やCLT（直交集成板）建築の普及による新たな木材の需用の掘り起こし、県産材の利用拡大と再造林の取組等を推進している。また、県民参加型の森林づくり活動や森林病虫害防除対策を推進し、県民が森や木を身近に感じながら安心して暮らせる宮城の実現を目指している。

水産業では、暖水性魚種の利活用推進や、新たな養殖種の探索、陸上養殖技術の研究・普及などを進めるとともに、「みやぎ漁師カレッジ」による新規漁業就業者の確保・育成や、ICT等の導入による労働の省力化、効率化に加え、県産水産物の消費拡大・販路開拓を図り、環境と調和した持続可能で活力ある水産業の確立を目指している。

主な農林水産物

大豆

県の優良品種「ミヤギシロメ」は、大粒で外観品質に優れ、主に地場大豆加工品に利用されている。（収穫量全国2位）



米

「ひとめぼれ」、「ササニシキ」の主産地。環境保全米等、環境に配慮した生産にも取り組む。（収穫量全国5位）



いちご

「仙台いちご」のブランド名で親しまれ、特に亘理郡は栽培に適しており、東北のいちご王国と呼ばれる。（収穫量全国10位）



パプリカ

栗原市や石巻市を中心に栽培され、国内収穫量の5分の1を宮城県産が占めている。（収穫量全国1位）



せり

根まで食べる「せり鍋」が有名。「河北せり」は令和2年12月に、「仙台せり」は令和6年3月にGI登録された。（収穫量全国1位）



肉用牛

A5、B5に格付けされた肉のみ呼称できる「仙台牛」は、品質、風味とも高く評価されている。（飼養頭数全国9位）



まぐろ類

漁獲量が全国トップクラスの県を代表する魚。なかでもめばちまぐろの漁獲量は全国第1位を誇る。（漁獲量全国1位）



さめ類

気仙沼市が主産地であり、ヒレを原料とする高級食材「フカヒレ」は海外にも輸出されている。（漁獲量全国1位）



ぎんざけ(養殖)

志津川湾が養殖発祥の地。一部の養殖ぎんざけは「みやぎサーモン」としてGI登録されている。（生産量全国1位）



かき類(養殖)

養殖は約400年前に松島湾で開始。生食用の流通が多く、また、養殖用種がきは全国各地に出荷。（生産量全国2位）



宮城県内の各地域における農林水産物

全県域

【農産物】米、大豆、ねぎ、きゅうり、トマト
【畜産物】乳用牛、肉用牛

栗原（くりはら）地域

【農産物】そらまめ、いちご、りんご、ズッキーニ、なばな、パプリカ
【畜産物】豚、採卵鶏
【林産物】生しいたけ、なめこ
【水産物】イワナ（養殖）

大崎（おおさき）地域

【農産物】小麦、はくさい、なす、そらまめ、えだまめ、りんご、日本なし、うめ、つるむらさき、なばな
【畜産物】豚、ブロイラー、採卵鶏
【林産物】生しいたけ、なめこ、えのきたけ、ぶなしめじ

仙台地域

【農産物】ばれいしょ、はくさい、こまつな、えだまめ、いちご、りんご、日本なし、イチジク、せり、なばな、パプリカ
【林産物】生しいたけ
【水産物】まぐろ類、かつお、ひらめ・かれい類、かき類（養殖）、わかめ類（養殖）、のり類（養殖）、イワナ（養殖）

仙南（せんなん）地域

【農産物】そらまめ、いちご、りんご、日本なし、かき、うめ、イチジク、つるむらさき
【畜産物】豚、ブロイラー、採卵鶏
【林産物】えのきたけ

気仙沼（けせんぬま） ・本吉（もとよし）地域

【農産物】こまつな、えだまめ、いちご、なばな
【林産物】生しいたけ
【水産物】まぐろ類、かじき類、かつお、さめ類、さんま、ぎんざけ（養殖）、かき類（養殖）、わかめ類（養殖）、ほや類（養殖）

登米（とめ）地域

【農産物】ばれいしょ、はくさい、そらまめ、えだまめ、いちご、りんご、パプリカ
【畜産物】豚
【林産物】生しいたけ

石巻（いしのまき）地域

【農産物】六条大麦、ばれいしょ、はくさい、こまつな、えだまめ、いちご、せり、なばな、パプリカ
【畜産物】ブロイラー
【水産物】まぐろ類、かつお、さば類、さんま、ひらめ・かれい類、ぎんざけ（養殖）、かき類（養殖）、わかめ類（養殖）、のり類（養殖）、ほや類（養殖）



宮 城 県 の 農 業 (1)

- ・耕地面積は12万4,400haで全国8位。うち田が10万2,300ha、畑が2万2,100ha。
- ・農業経営体数は3万5経営体で全国11位。うち法人経営体が688経営体で17位。
- ・認定農業者数は5,693経営体で全国16位。うち法人数が722法人で14位。

耕地面積

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
耕地面積	124,400 ha	4,297,000 ha	8
田	102,300 ha	2,335,000 ha	4
畑	22,100 ha	1,962,000 ha	20
普通畑	15,400 ha	1,120,000 ha	18
樹園地	1,040 ha	253,500 ha	44
牧草地	5,660 ha	589,000 ha	5
参考) 総土地面積	728,229 ha	37,797,539 ha	16

出典:「令和5年耕地面積(7月15日現在)」、「令和6年全国都道府県市区町村別面積調(1月1日時点)」(国土交通省国土地理院)

荒廃農地面積

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
荒廃農地面積	5,674 ha	253,217 ha	20

出典:「令和4年度の荒廃農地面積(令和5年3月31日現在)」

担い手への農地の集積状況

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
担い手への集積面積	78,248 ha	2,573,672 ha	7
集積率	62.4 %	59.5 %	10

出典:「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和4年度版)」

都道府県の農業、林業、漁業の表の見方

- ・令和6年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用
- ・表中に使用した記号は次のとおり

「O」: 単位に満たないもの(例: 0.4t→0t)

「-」: 事実のないもの

「…」: 調査を欠くもの

「x」: 秘密を保護するため統計数値を公表しないもの。

「*」: 秘密を保護するため統計数値を公表していない都道府県を除いた順

農業経営体数、農家数及び集落営農数

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
農業経営体数	30,005 経営体	1,075,705 経営体	11
法人経営体	688 経営体	30,707 経営体	17
総農家数	41,509 戸	1,747,079 戸	18
販売農家	28,632 戸	1,027,892 戸	11
参考) 世帯総数	982,523 世帯	55,830,154 世帯	14
集落営農数	811 集落営農	14,204 集落営農	2

出典:「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「令和5年集落営農実態調査結果(令和5年2月1日現在)」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
基幹的農業従事者数	32,818 人	1,363,038 人	19
男	20,675 人	822,144 人	19
女	12,143 人	540,894 人	19
65歳以上	23,679 人	948,621 人	20
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	72.2 %	69.6 %	-
認定農業者数	5,693 経営体	219,846 経営体	16
法人数	722 法人	28,720 法人	14
参考) 総人口数	2,301,996 人	126,146,099 人	14

出典:「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和5年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

宮 城 県 の 農 業 (2)

- ・農業産出額は1,737億円で全国18位。うち米が630億円（36.3%）、野菜が266億円（15.3%）、畜産が752億円（43.3%）。
- ・農畜産物の生産状況は、パプリカ、せりが全国1位、大豆、つるむらさきが2位、水稻、六条大麦、そらまめが5位。
- ・農業生産関連事業は、農家レストランの年間販売（売上）金額が11億円で全国11位、事業体数は40事業体で7位。

農業産出額

区 分	宮城県	全国	全国順位
農業産出額	1,737 億円 (100.0)	90,015 億円 (100.0)	18
米	630 億円 (36.3)	13,946 億円 (15.5)	5
麦類	x 億円	647 億円	- *
雑穀	0 億円	83 億円	19
豆類	28 億円	715 億円	3
いも類	4 億円	2,199 億円	41
野菜	266 億円 (15.3)	22,298 億円 (24.8)	29
果実	23 億円 (1.3)	9,232 億円 (10.3)	43
花き	26 億円	3,493 億円	36
工芸農作物	1 億円	1,551 億円	44
その他作物	x 億円	607 億円	- *
畜産	752 億円 (43.3)	34,678 億円 (38.5)	12
肉用牛	263 億円	8,257 億円	7
乳用牛	129 億円	9,013 億円	10
生乳	122 億円	7,916 億円	10
豚	134 億円	6,713 億円	16
鶏	224 億円	9,716 億円	18
鶏卵	153 億円	5,638 億円	17
ブロイラー	61 億円	3,940 億円	13 *
その他畜産物	1 億円	979 億円	35
加工農産物	1 億円	565 億円	26

出典：「令和4年生産農業所得統計」

注：()は農業産出額を100%とした割合である。

農畜産物の生産状況

区 分		年次	宮 城 県	全 国	全国順位
水稻	収穫量	R5	344,700 t	7,165,000 t	5
六条大麦	収穫量	R5	5,310 t	64,400 t	5 *
大豆	収穫量	R4	15,800 t	242,800 t	2 *
そらまめ	収穫量	R4	476 t	13,200 t	5
いちご	収穫量	R4	4,870 t	161,100 t	10
肉用牛	飼養頭数	R5	80,100 頭	2,687,000 頭	9
乳用牛	飼養頭数	R5	17,100 頭	1,356,000 頭	9
パプリカ	収穫量	R2	1,370 t	6,710 t	1 *
つるむらさき	収穫量	R2	149 t	883 t	2 *
せり	収穫量	R2	424 t	1,070 t	1

出典：「作物統計」、「野菜生産出荷統計」、「畜産統計」、「地域特産野菜生産状況」

農業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
農産加工	総額 9,392 百万円 事業体数 630 事業体	1,012,818 百万円 28,980 事業体	33 21
農産物直売所	総額 16,811 百万円 事業体数 450 事業体	1,087,897 百万円 22,380 事業体	27 22
観光農園	総額 137 百万円 経営体数 30 経営体	35,999 百万円 5,090 経営体	44 38
農家民宿	総額 15 百万円 経営体数 10 経営体	4,565 百万円 1,170 経営体	37 * 27 *
農家レストラン	総額 1,105 百万円 事業体数 40 事業体	35,236 百万円 1,330 事業体	11 * 7 *

出典：「令和4年度6次産業化総合調査結果」

宮 城 県 の 林 業

- ・林業産出額は112.7億円で全国15位。うち木材生産が76.4億円、栽培きのこ類生産が35.7億円。
- ・林産物の生産状況は、素材生産量が全国10位、あかまつ・くろまつが5位、ぶなしめじ、えのきたけ、なめこが6位。

林業産出額

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
林業産出額	112.7 億円	5,806.6 億円	15
木材生産	76.4 億円	3,604.6 億円	14 *
栽培きのこ類生産	35.7 億円	2,079.5 億円	19

出典：「令和4年林業産出額」

林野面積

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
林野面積	407,710 ha	24,770,201 ha	22
国有林	121,700 ha	7,153,338 ha	14
民有林	286,010 ha	17,616,863 ha	26
人工林面積	196,101 ha	10,133,111 ha	21

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

林業経営体数

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
林業経営体数	489 経営体	34,001 経営体	27
法人経営体	78 経営体	4,093 経営体	19

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

林産物の生産状況

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
素材生産量	685 千m ³	22,082 千m ³	10 *
針葉樹	637 千m ³	20,386 千m ³	10
あかまつ・くろまつ	33 千m ³	559 千m ³	5 *
すぎ	595 千m ³	13,238 千m ³	8
広葉樹	48 千m ³	1,696 千m ³	8 *
ぶなしめじ	生産量 3,152 t	122,840 t	6 *
えのきたけ	生産量 1,656 t	126,321 t	6 *
なめこ	生産量 949 t	23,738 t	6 *
生きくらげ類	生産量 63 t	1,683 t	10 *

出典：「令和4年木材需給報告書」、「令和4年特用林産基礎資料」

製材工場数

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
工場数	74 工場	3,804 工場	25
製材用素材の入荷があった工場数	74 工場	3,778 工場	25
国産材のみ	52 工場	3,054 工場	30
国産材と輸入材	20 工場	560 工場	11

出典：「令和4年木材需給報告書」

宮 城 県 の 漁 業

- ・ 漁業産出額のうち、海面漁業・養殖業産出額は922億円で全国4位。
- ・ 水産物の生産状況は、海面漁業のさめ類、まぐろ類が全国1位、海面養殖業のぎんざけが1位、かき類が2位。
- ・ 漁業生産関連事業は、漁家民宿の年間販売（売上）金額が3億円で全国6位、経営体数は30経営体で7位。

漁業産出額

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	922 億円	14,372 億円	4

出典：「令和4年漁業産出額」

漁業経営体数

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
海面漁業経営体数	2,326 経営体	79,067 経営体	13
内水面漁業経営体数	29 経営体	4,772 経営体	34

出典：「2018年漁業センサス（平成30年11月1日現在）」

漁業就業者数

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
海面漁業就業者数	6,224 人	151,701 人	5
男	5,530 人	134,186 人	4
女	694 人	17,515 人	11

出典：「2018年漁業センサス（平成30年11月1日現在）」

漁船隻数

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
漁船隻数	5,318 隻	132,201 隻	6
動力漁船	1,498 隻	69,920 隻	19

出典：「2018年漁業センサス（平成30年11月1日現在）」

水産物の生産状況

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	276,065 t	3,862,831 t	3 *
海面漁業漁獲量	187,176 t	2,950,992 t	4
さめ類	11,545 t	22,863 t	1
まぐろ類	19,600 t	122,299 t	1 *
海面養殖業収穫量	88,889 t	911,839 t	3 *
ぎんざけ	17,258 t	20,220 t	1 *
かき類	25,708 t	165,590 t	2 *
内水面漁業・養殖業生産量	302 t	54,115 t	25 *
内水面漁業漁獲量	90 t	22,612 t	18
さけ類	35 t	9,694 t	6
内水面養殖業収穫量	212 t	31,503 t	20 *
にじます	141 t	4,462 t	11 *

出典：「令和4年漁業・養殖業生産統計」

漁業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分	宮 城 県	全 国	全国順位
水産加工	4,531 百万円	181,820 百万円	11 *
事業体数	30 事業体	1,460 事業体	15 *
水産物直売所	533 百万円	37,410 百万円	20 *
事業体数	30 事業体	840 事業体	10 *
漁家民宿	273 百万円	5,986 百万円	6 *
経営体数	30 経営体	740 経営体	7 *
漁家レストラン	21 百万円	11,598 百万円	31 *
事業体数	0 事業体	420 事業体	30 *

出典：「令和4年度6次産業化総合調査結果」

宮城県 の 農 林 水 産 業 の 話 題 等

スマート農業の普及拡大に向けたRTKシステムの活用

宮城県は県内のほぼ全域を受信範囲とする7か所にRTK基地局を設置し、令和5年4月から「宮城県RTKシステム」として運用を開始している。

令和5年9月には、RTKシステムの利用拡大を図り、スマート農業を普及させるため、農業機械メーカーや農業関係団体、農業者などで構成する「みやぎRTK利用拡大コンソーシアム」を設立し、活用事例の把握や改善策の検討、実証モデル設置による技術実証、情報発信などを行っている。

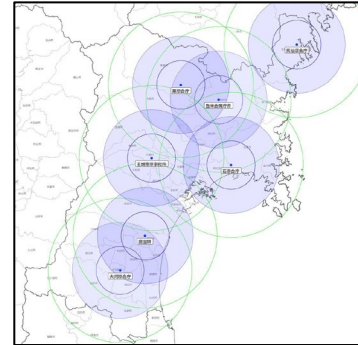
このRTKシステムは、農業法人を中心にトラクターや田植機などの自動操舵や、農業用ドローンの自動飛行などで活用され、令和6年1月末時点の利用登録者数は138（うち農業者132）、約5,500ヘクタールで導入されている。

農業者の減少や高齢化が進展する中、担い手農家の規模拡大や労力の軽減、生産性の向上を進め、地域農業の維持・発展を図るため、先端技術を活用したスマート農業の普及拡大を推進し、宮城ならではの営農体系を構築しながら「スマート農業先進県」を目指している。

※RTK：衛星から取得した測位データと基地局から配信される位置補正データを組み合わせ、リアルタイムで高精度に位置計測するシステム。



着色円内はメーカーが有効範囲とする受信エリア
着色なし円部分でも条件によっては受信可能



イノシシ肉の特産化を目指す「ジビエの郷づくり」を推進

大崎市はイノシシによる農産物被害が深刻な問題となっていることから、東北で初となるイノシシを加工可能な「ジビエ食肉処理加工施設」と「減容化処理施設」を整備し令和6年1月から稼働している。

市はこれまで捕獲や侵入防止対策とともに、地域ぐるみの環境対策などを総合的に取り組んでいたが、生息頭数も被害地域も急増し続け、捕獲数は年間約700頭を数えるまでになった。そこで、イノシシを地域資源と捉え、特産化を目指す「ジビエの郷づくり」を進めている。

捕獲したイノシシは、放射性物質と豚熱の検査を全頭で実施するなど衛生管理を徹底しており、令和6年2月に市役所で開かれた試食会では、和洋9品のジビエ料理が参加者約60人に提供され、反応は上々と聞いている。大型連休に入る4月27日からは市内の道の駅3か所でジビエ料理の販売を開始し、飲食店や宿泊施設でも順次提供を目指している。



令和6年1月に稼働を開始したジビエ食肉処理加工施設の内部

試食会で提供されたジビエ料理和洋9品のうちの3品

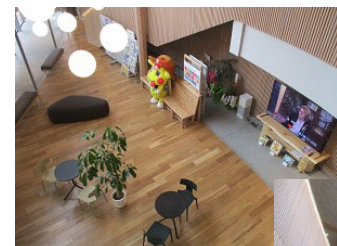


新庁舎建築にFSC認証の地元産木材を活用

令和5年3月に竣工したJAみやぎ登米本店の新庁舎は、木造二階建てであり、使用された木材のほとんどが地元産のFSC認証材となっている。これはJAの「農業と林業が支え合わなければ地域は生き残れない」との思想のもと、地元森林組合の協力により実現したものである。

新庁舎中央のヨリアイホールでは、美しく印象的な大黒柱のような束ね柱と八方向重ね肘木で広々とした空間が実現されており、市民が集える「寄合」の場として、地域活動の中心になることが期待されている。

※FSC認証：世界自然保護基金を中心に発足した森林管理協議会が管理する国際的な森林認証制度。



左はヨリアイホール
下は束ね柱と八方向重ね肘木

